

浜管だより



No.

467

目次

- 年頭のごあいさつ……………2
- 新年の抱負……………7
- 新年賀詞交換会……………11
- 支部だより……………12
- 工事安全パトロールの実施…16
- 給水装置工事に伴う路面復旧
工事の受託事業の開始……………17
- 合同防災訓練……………18
- 横浜クルージング……………20
- 船釣り大会……………22
- 支部対抗ゴルフ大会……………23
- 横浜市技能功労者表彰……………25
- 優良工事施工業者表彰……………25
- 佐々木理事長の国交大臣賞受
賞を祝う会……………26
- 「山歩き・花日記」……………27
- 賛助会員の新規加入状況……………29
- 編集後記……………29



年頭のごあいさつ

横浜市長 林 文子



あけましておめでとうございます。新しい年が明るく良い年になることを、心から願います。

昨年は、長年の悲願であった、市内2か所の米軍

施設返還が決定し、6月には深谷通信所の返還が実現しました。日中韓3か国で開催した「東アジア文化都市」の日本代表都市として、文化芸術による交流を生み出すこともできました。

今年も、新たな中期4か年計画のもと、誰もが安心と希望を実感でき、「人も企業も輝く横浜」の実現に向けて、オール横浜で邁進いたします。

まず何より、防災・減災対策に万全を期してまいります。昨年の台風18号に伴う土砂崩れによる痛ましい被害を胸に刻み、がけ対策等を一層強化します。防災力向上・経済活性化に大きく寄与する、横浜環状道路等の都市基盤整備もしっかりと進めます。

子ども・子育て支援新制度がスタートする今年、妊娠期から学齢期までの切れ目ない子育て支援と、教育環境の充実を図ります。「女性」「若

者」「シニア」の方々が一層活躍できるようサポートするとともに、生活にお困りの方に対する支援を強化します。「よこはまウォーキングポイント事業」を核に健康づくりのムーブメントを一気に拡大し、横浜市を健康寿命日本一の都市にしていきたいと思います。

中小企業の皆様への支援はもちろん、特区における規制緩和策を活用して成長産業を發展させ、インフラ技術を海外の都市課題解決に役立てるY-PORT事業にも注力します。都市の成長エンジンとなる都心臨海部の機能を高め、郊外部のまちづくりも丁寧に進めていきます。

3月には、初の市民参加型フルマラソン「横浜マラソン2015」が開催され、毎年、街に大きな活気を生み出している横浜芸術アクション事業は、ダンスの年を迎えます。

日本をリードする先駆的な挑戦、着実な成果の積み重ねが、横浜の実行力と発信力を高めています。2020年オリンピック・パラリンピック東京大会、更にはその先を見据え、着実に歩みを進めてまいります。よろしくお願いたします。





年頭のごあいさつ

横浜市水道局長 土井 一成



新年明けましておめでとうございます。

日頃から、本市水道事業に対し、多大なご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

昨年は、127年の歴史を持つ横浜水道にとって、記念すべき年となりました。4月の川井浄水場セラロッカの稼動開始や、9月の中村町事務所の新庁舎完成、11月の市内70キロをつなぐ大環状線の完成など、これからの横浜水道の基盤となる重要施設が誕生しました。

また、昨年7月に水循環基本法が施行され、水は国民共通の貴重な財産であり、公共性の高いものと位置付けられました。社会の発展には、健全な水循環が重要な役割を果たしているため、その維持・回復などの施策が不可欠とされ、国、地方公共団体、民間事業者や団体などと連携し、協力することが重要であるとされました。

今年、平成27年は、横浜水道の将来を見直しながら、新たな長期ビジョンと中期計画の策定を進める年となります。現在、水道界を取り巻く環境には多くの課題があります。お客様の節水意識の定着や節水機器の普及などにより、水道使用量は長期的に減少傾向にあり、料金収入も減少しています。また、高度経済成長期に整備された多くの水道施設の老朽化が進み、更新や再構築の時期を迎えています。これらの課題に立ち向かいつつ、引き続き、確かな技術と

品質のもと、370万人市民の皆さまの暮らしを支えていかねばなりません。

具体的には、災害に強い信頼のライフラインを目指し、大地震に備え、水道施設の耐震化や老朽管更新、管路のネットワーク整備を引き続き進めていきます。あわせて、水質管理を強化し、トップレベルの安全でおいしい水をお客さまにお届けすることに努めてまいります。さらに、災害発生時の飲料水の確保のため、「自助」としてのご家庭や企業での飲料水備蓄や「共助」としての地域の皆さまによる応急給水の防災訓練についてご案内してまいります。

これらの事業を着実に進め、24時間365日水道水を安定供給し、将来に向け災害に強い水道施設を構築していくためには、お客さまの水道事業へのご理解と、お客さまと直接接する貴組合員皆さまのご協力が不可欠です。

今後とも、お客さまに満足いただける水道サービスを提供していくためには、水道界全体で力を合わせ、さまざまな課題を解決していくことが重要です。その中で近代水道創設の歴史を持つ横浜水道の役割は大きく、しっかりと技術やノウハウを継承していく必要があります、引き続き、貴組合のご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、横浜市管工事協同組合と組合員の皆さまのますますのご健勝とご発展を祈念いたしまして、年頭のごあいさつとさせていただきます。



年頭のごあいさつ

横浜市建築局長 坂和 伸賢



平成27年の年頭にあたり、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

昨年は、建築局所管の管工事施工に際し、組合員の方々の技術力をいかに大きく発揮していただき、大変感謝申し上げます。

とりわけ、小中学校のトイレ洋式化事業では、全便器のうち7割近くまで改修が進んだほか、防災の観点からも重要な多目的トイレについても7割以上が整備されるなど、横浜市の喫緊の課題に大きく貢献していただきました。

本年も、新たにスタートした市立学校特別教室への空調設備の設置事業や、トイレ洋式化の100%早期完了に向け、引き続き皆様のご支援とご協力を是非ともお願い申し上げます。

建築局では、「防災・減災」、「豊かな住生活」、「環境」を施策の柱として、様々な取り組みを進めてまいります。

防災・減災では、建築物の耐震対策をはじめ、狭あい道路の拡幅整備、がけ地対策など、一層の取り組みを推進していきます。

豊かな住生活については、高齢化や建物の老朽化が進む、郊外住宅地の再生と活性化などの取り組みを進めてまいります。

さらに、低炭素社会の実現に向け、住宅の省エネルギー対策として、住まいのエコリノベーション推進事業を引き続き進めるほか、CASBEE横浜の普及促進、木材利用の促進等により、市内建設関連産業の活性化と両輪となった取り組みを強化していきます。

新しい年を迎え、素晴らしい将来の横浜の姿と市民の皆様の一層の幸福度を高めることを目指し、心を新たにしています。

最後になりますが、皆様の益々のご健勝とご発展を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。





年頭のごあいさつ

理事長 佐々木靖太



平成27年の新年を迎え、組合員並びにご家族皆様方に心からお慶び申し上げます。平素は、当組合の事業運営・活動に際しまして、組合員、関係機関、賛助会員の皆様に格別のご支援、ご協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、地球温暖化の進行に伴って世界的な異常気象により、フィリピンでは、巨大な台風が発生し、記録的な勢力と高潮で被害が拡大しました。また、日本でも西日本を中心とした豪雨による大規模な洪水と土石流、また前触れのない御嶽山の噴火といった天変地異により甚大な被害が発生しました。もとより我が国は自然災害の多い風土ですが、改めて自然災害の脅威を痛感した一年でもありました。加えて、デング熱やエボラ出血熱といった馴染みのない感染症が突如として現れ、人々に得体の知れぬ恐怖や不安を与えています。

明るい話題としては、日本人の活躍が世界で認められた年でもありました。特に印象に残っておりますのは、青色発光ダイオード（LED）の発明で中村教授、赤崎教授、天野教授の3氏がノーベル賞を受賞したことです。彼らの研究により実現した白色のLED照明は、従来の白熱電球や蛍光灯に比べて驚異的な省エネルギーを可能にしました。世界のすべての人々に恩恵を与え、暮らしを豊かにする、まさに今世紀を象徴するであろう革命的発明であります。そして、この賞を原理や理論の発明者ではなく、製造技術に革新をもたらした研究者が受賞したことは、日本の「ものづくり」が復権を果たす力となり、技術者にとってこの上ない励みにな

りました。このような困難な発明に対して次世代を担う若者にも日々の努力と挑戦意欲を駆り立てて欲しいものです。

安倍政権の2年間の実績と経済政策「アベノミクス」の継続の信を問う解散総選挙が昨年12月14日に行われました。この突然解散で野党がマニフェスト等々の準備ができない中で、投票率も過去最低の52%台に落ち込み、結果的には組織票のある与党が大勝しました。与党は雇用や賃金面の指標改善をアベノミクスの実績とし、経済再生とデフレ脱却に向けた政策路線の継続を呼びかけ、中小企業や小規模事業者で汗を流す人々に景気回復の温かい風を受け取ってもらえるようにすると約束しました。今後、第3の矢の成長戦略を目に見える形にするには、経済の活性化を目指した規制緩和や民間の活力を活用した事業の推進が行われ、国民との契約が果たされることを大いに期待しております。

建設業界を取り巻く環境は、東日本大震災からの復興の推進や東京オリンピックの開催に伴う公共事業の拡大により、大手ゼネコンなどの受注状況は好転し収益も大幅に改善しているそうです。ただ、大手、中小企業を含めて人手不足により工賃の値上りと円安による資機材の価格高騰により生産活動に支障をきたし始めており、特に中小企業は工事の依頼があっても、現場代理人、職人の手配等がままならず、経営的にも大変深刻な問題となっております。

さて、当組合の昨年の事業運営全般を振り返って参りますと、横浜市建築保全公社さん始め、私有水道管、教育委員会等の工事依頼は組合としても総力を挙げて取り組んでおり、受注動向も現況では順調に推移しております。こうした中、保全公社さんから当組合員が優良工事

施工業者の表彰を頂きましたことは、ご期待にしっかりとお応えできた証であり、大変誇らしいことでもあります。今後も安心して仕事をお任せ頂けるよう、品質、安全等あらゆる面で質を高め、信頼される施工管理に努めて参ります。そして、新たな柱となる事業を開拓し、経営基盤を強化することが大きなテーマとなっておりますが、現在ひとつのビジネスチャンスが訪れております。それは、給水装置工事の路面本復旧において、横浜市水道局さんの受託工事方式から全面自己復旧への移行が今年4月1日より施行されることが決定した事です。当組合ではこの路面復旧工事の受託を事業化し、既に昨年12月1日よりサービスの運用を開始しております。経済的に合理的な料金設定など、組合員の皆様にとってメリットが得られる仕組みを作って参ります。ぜひ多くの組合員にご利用頂き、この事業が定着し成長していくことを期待しております。

また、組合事業のもう一つの柱である共同購買につきましては、組合員の為に必要な資材調達を行っていますが、現況では組合員からの注文減少が続いております。その一方で懸案事項でありました在庫も前年対比50%の減少となり、段階的削減が出来ております。現状を打開する特価セールを決算までの残り3カ月の間に実施したいと考えております。

当組合は横浜市水道局さんの指定工事店として370万市民に安心、安全な「命の水」をお届けする社会的責務があります。我々は、平時はもちろんのこと、いざ災害というときに備えて水道局さんと連絡を密にし、合同防災訓練を行

い、迅速かつ確実にライフラインを確保しなければなりません。そのような時に力を発揮するのが、地域の特性を熟知した組合員の連絡網なのであります。

現況の組合員数は307社となってしまい、少子高齢化や人口の減少に伴う組合員の高齢化や後継者不足、廃業や若年層の入職不足などが重なり、新規加入者が年々減少しているのが今の悩みであり、大きな課題でもあります。この難局を乗り切っていくには“危機意識”を共有化し、総力を挙げて新たな時代に適応した魅力ある組合作りを目指す事が重要な使命であります。組合に加入する様々なメリットとしては、共同受注工事の配分、経営事項審査の加点、技術講習会をはじめ、業界内での情報などがいち早く入手でき、一企業では難しかった諸問題の解決、地域貢献、社会的地位の向上を果たすことができます。このような組合の魅力を広めて、更に仲間の輪が広がるように新規組合員の加入促進に取り組んで参ります。

ところで、2年後の平成29年には先人や諸先輩方が大変なご苦勞と努力を積み重ね、長年築いてきた歴史と伝統のある当組合が80周年を迎える事になり、組合としても新たな飛躍に向けた節目になります。これより、各支部、各組合員の皆様にも広くご参加をお願いし80周年記念事業委員会を立ち上げたいと考えております。

結びに、今年の干支は羊となっておりますが、群れをなす羊は家族の安泰と財を表すとされているそうですので、当組合の皆様が家族のように一致団結し、実り多い年になりますことを心より祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

新年の抱負

総務委員会委員長 月山 勇



皆様、新年明けましておめでとうございます。

平素から総務委員会企画の福利厚生事業にご理解とご協力を贈り、厚く御礼を申し上げます。

今年も昨年同様の事業を計画しておりますが、佐々木理事長の理念であります「多くの組合員が仕事（商い）での付き合いを超えたふれ愛」が出来る事業を数多く計画したいと考えており

ます。そのふれ愛の中で組合の一体感が得られれば幸いです。

とりわけ翌々年度は、組合創設80周年になります。総務委員会としても一大記念事業となることから、超党派での準備委員会を立ち上げます。組合員皆様の参画を切にお願い致します。80周年記念事業を良い機会と捉え、組合としての使命を強く打ち出し、横浜市民に対する「市民の生活・命の水を守る」をアピールし、組合そして組合員の地位向上を力強く推進させましょう。

今年も皆様のお力添え宜しくお願い致します。

財務委員会委員長 鈴木 永雄



新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様には穏やかな初春を御家族でお迎えのことと御慶び申し上げますと共に、旧年中は組合の事業

運営にお力添えいただきましたことを心より感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと第二次安倍内閣のデフレ脱却と経済改正を目的とする[アベノミクス]により上場企業は回復傾向を示していましたが、私共中小企業におきましては好循環の波が届いたとは思われませんでした。

又、年の暮れに安倍首相が消費増税先送りの為の衆議院解散表明をした事により消費税率10%先延ばしとなった事が我々事業者にとって良い事なのか、悪い事なのかは今年の景気に左右されるのではないのでしょうか。

組合としては、昨年12月1日から事業委員長宮本氏の下で路面本復旧工事を事業化致しましたので本年度は多くの組員さんにご利用して頂ける様お願い申し上げます。

新年の抱負としましては、佐々木理事長を中心とし、理事一丸となり組合の目標と事業運営に邁進してまいりますので今年も宜しくお願い致します。

皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

資材委員会委員長 山崎 清治



新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

組合の理事として5年が経過しようとしています。

総務、財務資材兼務を歴任させて頂き、26年度より資材委員会の責任者をしておりますが、現在の組合運営に資材の購買収入が貢献しているとは、到底いえる状況ではありません。

一般的に脆弱と言われる中小企業の経営基盤を相互に助け合うために、組合制度が設けられ一定の役割を当組合も発揮して来ましたが、想像をはるかに超える環境の変化とともに規制緩和も進み各組合員様の事業内容も、新築工事、リホーム工事、修繕工事、プラント工事、本管布設工事等の色分けが鮮明になり使用材料も、

事業委員会委員長 宮本 誠一



平成27年の念頭に当たり謹んで初春のお慶び申し上げます。

旧年中は組合の事業委員会活動に対し、組合員並びに関係機関そして賛助会員の皆様にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、平成27年4月1日からの給水装置工事に伴う路面本復旧工事の全面自己復旧への移行に合わせ、路面本復旧を当組合の受託事業として立ち上げ、組合員からの要望に応じてまいります。この受託事業には、11月の理事会で承認され、12月1日より運用を開始しました。定着するには、まだまだ多くの課題があります。今

現在の組合の窓口販売と配達付特価セール（おもにメーター廻り）だけでは、組合員様の要望に対応できないのが現状であります。現在300社を超える組合員を抱える横浜市管工事協同組合が、資材費の高騰に苦しむ組合員のために、スケールメリットを生かし安価で提供できるような資材販売方式を各支部組合員様の意見、要望を聞きながら実現できれば組合の安定運営にも繋がり組合在籍のメリットもわかりやすく実感できるのではないのでしょうか。

多少の時間をかけてでも各支部組合員様の意向を聞き資材販売の方法、方向を検討する時期に来ていると思います。

『組合は何をすべきなのか?』と『どのようにすればよいのか?』を考え取り組んでいきますので、今後とも、皆様のご支援、ご協力をお願い致します。

新しい年が、皆様にとりまして素晴らしい一年となりますことを心よりお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

後、舗装業者の拡大、組合員以外の受け入れ等も視野に入れていくつもりです。

次に、横浜市水道施設に係る災害時等の応急措置の協力に関する協定を補完する実施細目が協議を重ねた末、平成26年3月31日に締結の運びとなりました。この実施細目により当組合と水道局が連携し、互いに役割を果たす必要事項が定まりました。この細部協定を受けて、組合員と水道局そして地域住民を交えて、災害時における迅速な応急給水・配水管修繕等の合同防災訓練が年2回のペースで行われようになりました。万が一の災害に備え、当組合は、横浜市18区全体を網羅する組織として、横浜市水道局と共に惜しまない努力をさせていただきます。

最後に、組合員の皆様には、事業委員会活動に更なる御配慮と協力を賜ることをお願いし『新年の抱負の言葉』に代えさせていただきます。

共同受注委員会委員長 高橋 光晴



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、お健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年4月には消費税増税が行われ、個人の生活においても、また会社経営においても頭を抱えておられる方々も少なくないのではないのでしょうか。

現在、横浜市建築保全公社からの共同受注工事手数料は組合運営を行っていく上での大切な

運営費の一部となっておりますが、共同受注工事の受注も思うように伸びず大変厳しい状況となっております。

我々を取り巻く環境はますます厳しい状況ではありますが、横浜市建築保全公社からの仕事受注の増加に繋がるような委員会運営を行っていけるよう委員及び組合職員一丸となって、努力して参りたいと思っております。

施工する組合員の方々におかれましても、安全を第一に考えて頂き施工をお願い致します。

皆様の更なるご発展を祈願致しますと共に、本年も組合活動へのご協力とご参加をお願い申し上げます。

共同受注検査委員会委員長 平澤 捷三



新年、明けましておめでとうございます。

私は、前委員長が急逝され、急遽、理事長より共同受注検査委員長に任命されました。何分にも経験不足

であり、理事の皆様のご支援を頂き、なんとか仕事をこなしてまいりました。

今年も委員会は、横浜市建築保全公社様、横浜市教育委員会様、その他お客様の工事を施工

するに当たりましては、「安全第一」を目標に、運営してゆく所存であります。組合員の皆様のご意見も伺い、より良い環境を整備して受注の増加に繋がればと思っております。

昨年、施工現場の工事安全パトロールを実施させていただきましたが、今年は、組合員、お客様との話し合いの場を設け、よりレベルの高い工事安全パトロールにして、現場の安全を維持して行きたいと思えます。また、労働安全に関する各種講習会の開催の準備を進めています。

皆様の、ご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

青年部会長 村山 竜治



あけましておめでとうございます。昨年は皆様のご協力いただき青年部員数も増え、一年間の活動についても拡張することができ心よりお礼申し上げます。青年部は2か月に一度の定例会を行いその中でど

のような活動をしていくか決めております。地域ボランティア活動として昨年は9月6日ビーチクリーン活動を予定していましたが丁度 Deng 熱の感染拡大を防ぐため、横浜市金沢区の「海の公園」の一部閉鎖に伴い中止となってしまいました。同月27日には南部第一地区と水道局との合同防災訓練に参加させて頂きました。会場が神奈川県立磯子工業高等学校でその学生さん達と多くの自治体の皆様と一緒にいつ起こって

もおかしくない災害に備える重要性など充実した防災訓練が出来ました。10月には4月に稼働したばかりの川井浄水場見学会があり国内最大規模の膜ろ過施設を拝見させて頂きまして非常に勉強になりました。

今年は金沢海の公園ビーチクリーンや山梨県

道志川ボランティア活動と別に地域ボランティア活動を増やしていくことで青年部新規加入の促進に積極的に取り組んでいきます。見学会も東京都水道歴史館・東京都虹の下水道館など検討して参ります。今年もよろしくお願ひ申し上げます。



配管支持金具の
A アカギ 株式会社 **アカギ**

本社 東京・支店 営業所 全国主要都市

横浜営業所 〒240-0064

横浜市保土ヶ谷区峰岡町1-3-1

TEL 045-342-0211 FAX 045-339-6101



新年賀詞交換会



平成27年の組合新年賀詞交換会は、1月9日（金）午後5時より、新横浜グレイスホテルにて行われました。組合員ならびに賛助会員の皆様、そしてご来賓としてお越し頂きました当組合顧問団の議員の方々、横浜市水道局、横浜市建築局、（公財）横浜市建築保全公社の方々合わせて166名の方にご参加頂きました。さらに衆議院議員のおこのぎ八郎議員にも急遽駆けつけて頂きました。

石田副理事長の開会の言葉に始まり、続いて佐々木理事長より、「建築保全公社始め、私有管切り回し工事、教育委員会の工事依頼は組合としても総力を挙げて取り組んでおり、安心してお任せして頂けるよう、あらゆる面で質を高め、信頼される施工管理に努めて参ります。また昨年12月より路面復旧工事の受託事業も開始致しました。当組合は水道局とともに370万市民へ安心、安全な『命の水』をお届けする責務があります。平時は勿論のこと、いざという時に備えて水道局と連携を密にし、合同防災訓練を行い、確実にライフラインを確保しなければなりません。これらの事業の発展と責務に応えるためにも新規組合員の加入促進が大きな課題となります。この難局を乗り越えていくために

危機意識を共有化し、より魅力ある組合を目指すことが重要です。つきましては、組合員の皆様、全員が営業マンとなって一社でも多くの仲間を増やすためにご尽力を頂きたいと思えます。」と新年の挨拶がありました。

ご来賓を代表して横浜市水道局土井局長と横浜市建築局高田副局長より横浜市との連携の強さを強調し、組合の躍進に期待するお言葉を頂きました。賛助会員27社の方々の紹介が行われ、（公財）横浜市建築保全公社 浜野理事長に乾杯を執って頂き開宴となりました。今回は賛助会員より多数の賞品を提供して頂き、お楽しみ抽選会を行い、47名の方に福の神が笑いました。終始歓談は尽きず、盛況のうちに丸山副理事長の閉会の辞をもって閉会となりました。



支部だより

青葉支部

平成26年度青葉区民まつりレポート

さる平成26年11月3日広報活動の一環として毎年行われております平成26年度青葉区民まつりの横浜市管工事協同組合青葉支部として参加してまいりました。

1週間まえの天気予報では、当日は雨天と予報されてはありましたが、青葉支部員の日頃の行いが良く9月半ばの気温で晴天でした。

当日の出店の場所は、一番はじでしたが、毎年行われておりますスーパーボールすくい、チャンスボックス、糸引きゲームなどはあまり



子供さんが通りにくい場所だとは支部員の方々も思われてはありましたが青葉支部員の日頃の行いがよろしいので流れができ又支部員の掛け声も大きく大繁盛でした。

ましてや売り子の若い女性軍や若い男子にも大いに助けられたものでした。

今年度も皆さんの力を借りて今年度も無事に完売御礼。

大徳支部長の挨拶に始まり、加藤幹事長の締めで終わり無事に平成26年度青葉市民まつりが終わりました。

来年度も青葉支部として区民まつりが今年度以上に盛り上げるように反省会を行い終了しました。

チーム青葉



平成26年度総会

第20回平成26年度定期総会

青葉支部では、通常総会を5月24日（土曜日）あかべこ月亭市ヶ尾店におきまして開催しました。今年度は、役員改正の時期でもあります。青葉支部16社 出席11社 委任状5社におきまして総会は成立されております。まず初めに司会者の加藤さんからの挨拶で始まり続いて若林支部長の昨年度の総括の話をして頂き議長に小山さんが選ばれ、第1号議案から第7号議案まで内野副支部長、中嶋会計、大徳監査役、加

藤幹事長によって報告され承認されました。又退任役員の方林支部長に感謝状が渡されました。

本当にお疲れ様でした。新役員は下記の方々です。

| | | |
|-------|----------------|-------|
| 支 部 長 | (株)大徳工務店 | 大徳 稔 |
| 副支部長 | (有)田園水道 | 寺下 昌利 |
| 幹 事 長 | (有)藤が丘水道 | 加藤 茂 |
| 会 計 | (株)千年水道工業所 | 中嶋 栄一 |
| 会計監査 | (有)内野設備 | 内野 久司 |
| 編集委員 | (株)小池設備横浜営業所 | 小山 勝美 |
| 本部理事 | (株)北勇 | 山崎 清治 |
| 本部監査 | (株)千年水道工業横浜営業所 | |

中嶋 栄一
相 談 役 (株)高橋工業 高橋 俊雄
相 談 役 (有)下恩田商事設備社 若林 晃
続きまして、今年度より新たに選ばれました大徳支部長より挨拶が有り、此れからの青葉支部を先輩方より引き継いだ事の重圧も有りますが、一層チーム青葉と言う功績をいかに発展させるかが此れからの自分に対する力量を問われる事にもなると力説されておりました。総会後には、



懇親会を開き、高橋相談役の乾杯で始まり又懇談の間にもチーム青葉の言葉が連呼されいかに青葉支部の絆を深めて行くのにまず何をすればいいのかとあっちこちで話されておりました。真剣な話も有れば、笑いも絶えません。楽しい宴はあつというまに過ぎ、内野会計監査役にて中締めで終了となりました。

チーム青葉



磯子支部

忘年会～箱根湯本温泉旅行～

2014年もそろそろ師走となってきています。

この時期になると磯子支部では恒例の忘年会をかねた旅行があります。

今年も例年のごとく現地集合現地解散を遂行するように、場所を箱根湯本と近くに設定しました。

11月29日から30日にかけて、宿は「ホテル河鹿荘」。

箱根湯本駅から歩いて5分というアクセスのよさのこの宿の自慢の風呂は、昔から箱根越えの旅人を癒してきた箱根の名湯、その源泉9本を所有し豊かな湯量を誇る屋内の大浴場や6階展望大浴場などにて、のんびりと滑らかな肌触りを満喫できます。

集合は支部会が18時に行われるので、それまでに。

皆さんそれぞれ早めに着いて一風呂楽しんで



いらっしやいました。

今回の旅行では岡田支部長が欠席のため、副支部長の杉山工業社長が仕切られていました。まずは部屋で11月分の支部会。理事会や編集会議の報告の後、宴会

のため部屋を移動します。

宴会場では、総合司会のイシケン社長の紹介で杉山副支部長が挨拶。乾杯の音頭を横浜双葉社長。

料理は、相模湾の海の幸を中心に吟味して食の匠が仕立て逸品揃い。万緑も爽やかな箱根で愉しむその味わいは舌鼓をより豊かに高鳴らせてくれます。



出てきた料理をおいしくいただきました。お酒もビールから始まって、日本酒、ワイン、焼酎、と、支部員みんなで堪能しました。

旅行が終わるといよいよ年の瀬です。景気がよかったと言えないような年ではありましたが、また来年も頑張って仕事できそうな、そんな元気をもらってきた旅行になりました。

そういえば、箱根って横浜よりも寒いような印象があったんですが、湯本は意外とそうでもなかったみたいです。

鶴見・神奈川支部

平成26年鶴見・神奈川支部合同忘年会にて

11月30日私達を歓迎するかの様に昨日とは打って変わって小春日和となった。

そんな中、午前9:00天理ビル前を出発し一路那須高原ホテルエピナールへ向かった。

途中東京駅から別の団体を乗せる為丸の内鍛冶橋駐車場に寄り7~8人の旅行者を乗せ10時再スタート、佐野パーキングエリアでいっぶくした後ノンストップでホテルへ向かった。

ホテルへ向かう途中東北自動車道を1時間15分位経過した頃右側の真っ赤に紅葉した三疊山を拝めることが出来ました。

最後の休憩地佐野パーキングエリアに到着。喫煙家は真っ先に喫煙所に向かう。

しかし、この広いパーキングエリアに何百人の観光客が居るか数えられないが喫煙所に居たのは私を含めてたった7~8人だった。これが現実なのか。禁煙しなければとつくづく考えさせられた。

佐野パーキングエリアを出発して15分位経つと那須連山の紅葉が見事なものだった。人生いろいろと言う歌があるが、山の紅葉もいろいろで、そのロケーションは真っ青な空とあいまってすばらしいものだった。また左側の車窓からはどこまでも、見渡せる田園風景が広がっている、この、のどかさはやはり日本ならではの風



これも温暖化のせいでしょうか…。

景だと思い日本はつくづくいいなーと感じさせられた。

午後1時ホテル到着、昼食を取り忘年会が始まるまで各々自由な時間を過ごした。

夕刻、いよいよ忘年会が始まり会場は非常に盛り上がり鶴見・神奈川支部員達の懇親は充分深まったようでした。二次会は定番のカラオケ大会となり、なお一層盛り上がり幕となった。

2日目はホテルが主催するネイチャーツアーに参加。いろいろなツアーが組まれていて今回は羽田沼の【白鳥鑑賞】 吉岡食品工業の【とうがらし造り】 道の駅【与一郷】等を巡るものであった。

天気が雨模様のせい、時期が少し早過ぎたのか残念ながら【白鳥鑑賞】はできなかったが広い沼には鴨がたくさん飛来していてそれも美しいものであった。

次の【とうがらし造り】では実際に自分達の手で七味とうがらしを造り持ち帰りが出来ました。そして最後の【与一の郷】では長野県自慢のそばで昼食を取り、みやげ物などを買い求め楽しんでた。あいにくの天気だったが非常に楽しく過ごせたツアーとなった。

午後1時にホテルに戻り一休みした後、2時にバスに乗り横浜へ向かい6時30分ごろ出発点の天理ビル前に到着し平成26年の鶴見・神奈川支部合同忘年会は無事終了となった。

金沢支部

第40回金沢まつりいきいきフェスタ

平成26年10月18日（土）
海の公園なぎさ広場

毎年恒例となりました金沢区の区民祭、金沢いきいきフェスタに参加。各支部員、青年部員が8時30分に集合。10時開店に向け、各自、ヨーヨー釣り、金沢支部員所在地名簿のクリアファイル、輪投げゲーム、経年劣化管の展示の準備に追われる中、10時を迎え、区民祭には、絶好の晴れとなり出だしから、多数のお客様が訪れ、お子様、お子様連れのお客様が、増えるにしたがい、ヨーヨー釣り、景品付き輪投げゲームに、人だかりが多くなり、それに伴い大人の方が、経年劣化管、訪れる方、通行されている方には支部員の各店の所在地を示したクリアファイルの配布と水栓ケレップを配りながら簡単な水栓

のパッキン交換方法を説明しました。例年は、隣のブースには、横浜市水道局磯子、金沢地域サービスセンターが出店していましたが、今年は、水道局の給水車を展示することから、離れた場所になりました。水道局のブースを見学しながら、ご挨拶に伺うと、やはり例年と同じく大勢のお客様が列を作っていました。金沢支部員、青年部員も人数が少ない為、交代でなんとか昼食をとりながら、お客様の対応を行い2時には、ヨーヨー釣り、輪投げの景品が無くなり、商社より協賛として頂いた、お茶を急遽景品として配りましたが、すぐに終了となり、クリアファイルも配布を終了しました。支部員減少の為、昨年より忙しい中、多くの区民の皆様に横浜市管工事協同組合金沢支部をアピールする事が出来たと思います。今回も催しに参加いただいた、お客様に募金として、お気持ち頂いたお金は（9,583円）金沢福祉協議会に募金いたしました。



工事安全パトロールの実施

共同受注検査委員会は、去る平成26年8月8日(金)と同月18日(月)の2日間、「熱中症対策」および「工事現場の足場転倒・倒壊防止」の2点を最重点項目に、安全パトロールを実施しました。パトロール対象現場選定にあたっては、工期・工事内容・進捗状況・施工担当組合員等を総合的に検討した結果、8月8日は寺尾中学校(鶴見区)と川井小学校(旭区)を、同月18日には二つ橋小学校(瀬谷区)、旭小学校(鶴見区)と決定しました。

現地到着後、現場代理人から施工状況等の説明を受けてから、パトロール開始です。安全衛生管理上のチェックリストに基づきながら、注意深く現場の点検を進めました。重点項目である熱中症対策については、4現場とも塩飴やスポーツドリンクを置く等、それぞれ工夫がされていました。加えて、熱中症に関する資料を手渡しの上、説明を行ったので、熱中症対策の意識向上に繋がる一助になれたと考えております。足場のある現場については、外観のチェックだけでなく、作業床へ上り、壁つなぎ状況、防網設置状況などの点検を行った結果、転倒・崩壊

に関わるような大きな問題点は見受けられませんでした。その他、現場作業員の半袖作業着用、掘り置き後の立入禁止措置、搬入後の資材仮囲いに関する軽微な指摘事項はありましたが、工事看板の表示を始めとする安全衛生管理体制、場内の整理整頓状況、機械・工具災害防止についての修正点は認められず、概ね良好な施工体制が整っていたと受け止めております。組合会館へ戻った後、丸山副理事長による安全パトロールの総括ならびに、安全意識の発揚を再確認し、無事、安全パトロールは終了しました。

安全なくして企業の存続はありません。当組合の工事安全管理体制が構築され、工事安全パトロールが実施されるようになったことは、より信頼される組合として大きな前進でしょう。

結びに、暑さが厳しい中、パトロールにあたり、快く対応して頂いた施工担当組合員の皆様、また、御協力頂きました石田・丸山両副理事長、理事各位に深く感謝申し上げます。工事安全パトロール実施のご報告に代えさせていただきます。本当にありがとうございました。



給水装置工事に伴う路面復旧工事の受託事業の開始

～ご依頼をお待ちしています～

近隣の水道事業体で路面本復旧を水道局が受諾する「受諾工事方式」を採用しているのは、横浜市だけでしたが、平成27年4月1日から全面自己復旧へ移行することとなりました。水道局は、この全面自己復旧への移行の効果として、①路面仮復旧から本復旧までの期間短縮②仮復旧現場における公衆災害発生リスクの軽減③局納金の徴収及び工事費清算業務がなくなることによる組織の簡素化等が図られるとしております。

当組合としては、多くの組合員からの要望に応えるため、事業委員会が中心となり、路面復旧工事を当組合の受託事業として立ち上げる作業を進めてきましたが、昨年の12月1日より組合員皆様へのサービス事業として開始しました。

組合員様のご利用により、この事業が定着し大きく育って行くことを願うものです。一般的な路面本復旧の受託工事費は、現行局納金と同等です。多くの組合員様からのご依頼を心よりお待ちしております。

路面復旧工事の流れ

給水装置工事申込申請後、組合事務局に工事内容をお知らせ下さい。
(申込書に現場地図と設計図を併せてFAXでご送信して頂きます、既に道路使用許可証を有している場合はこちらも併せてご送信下さい。)



掘削工事完了後に路面復旧の範囲が確定しましたら、組合事務局にお見積のご依頼を下さい。
舗装業者による現地調査の後、組合事務局よりお見積書をFAXにて送信致します。
お見積りにご納得頂けましたら、事務局に工事依頼書を送信して頂きます。



復旧工事が完了しましたら、舗装業者より郵送または手渡しにて、工事写真・竣工届・引渡書をお届けします。
この後、組合事務局より請求書をお送り致します。費用をお支払頂きましたら完了となります。

磯子工業高等学校での合同防災訓練

～地域に根差し、生徒も参加～

9月27日、水道局との合同防災訓練が行われ、秋晴れの空の下に約180名が集まりました。今回は南部第一地区（磯子・金沢）の地域住民を対象とした訓練で、神奈川県立磯子工業高等学校のグラウンドで行われました。高校の敷地での訓練ということもあり、高校生も参加され、水道局、地域住民、学校、当組合の4者による合同訓練となりました。この4者による合同防災訓練は、初の試みとなります。

訓練に先立ち、水道局より参加者へ緊急給水栓と災害用地下給水タンクの違いや災害時における水道局と組合の役割、個々人の心構えなどについて説明があり、公助と自助の重要性を訴えました。

実技訓練では、始めに100mmの配水管が漏水しているというシナリオで、実際に水の噴いている箇所を組合員が応急復旧を行うというものでした。天を衝くような水柱に参加住民は声を上げて驚き、それに果敢に挑む組合員の姿に目を奪われていました。水柱に負けず手際よく水を止めると参加住民からは惜しみない拍手を送られました。続けて止水をした配水管から組合員が給水栓を立ち上げ、水道局が水質検査を行いました。

この後、水道局は緊急給水栓の立ち上げを実演し、磯子工業高等学校の生徒に実際に給水を体験してもらいました。さらに、この緊急給水栓から給水車の車載タンクに給水を行い、続け

て給水車から応急給水を行いました。ここでは、組合員の指導の下、地域住民が応急給水装置を立ち上げ、給水を行いました。断片的ではありますが、応急復旧から住民による給水までの流れを実際に訓練することが出来ました。説明に耳を傾け、実演に目を見張り、一生懸命、訓練に参加する地域住民の姿からは防災への高い意識を感じ取りました。

今回、初の試みとなる4者による合同訓練ですが、水道局、地域住民、学校、当組合それぞれの役割や本分について互いに理解を深める非常に有意義な訓練となりました。また、当組合としましても協定と実施細目に基づく応急活動体制の確立へ大きな一歩となりました。

近い将来、東南海地震・首都直下地震等の巨大地震発生が危惧されています。「社会貢献」は当組合の経営理念の柱の一つです。地震災害時には、水道局との「災害協定」に基づき、組合の総力を挙げて協力しライフラインの確保に貢献していく所存です。そのためにも、水道局との合同訓練の積み重ねは不可欠です。

今後も水道局と連携を図り、市民の生命線である水道の維持の一翼を担える様、取り組んで参ります。また、組合員各位を始め、水道局、ご参加頂いた地域住民と学校関係者の皆様、この場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。



**サイズが違って、
積み重ねてきたものは
変わらない。**

油圧ショベルの歴史は
この小さなCATミニの中に詰まっている。
どの国の現場に居ようとも…。

キャタピラー株式会社
 本社（営業部門） 神奈川県相模原市由63700 〒229-1192
 Tel 042-764-8730 <http://japan.cat.com/>
 CATERPILLAR(キャタピラー)及びCAT(Caterpillar) Inc.の登録商標です。

CATERPILLAR®
TODAY'S WORK. TOMORROW'S WORLD.™

CATミニ

ロイヤルウィング 横浜クルージング

11月8日(土)に、横浜クルージングを開催いたしました。昨年の日帰りバス旅行と同じく、大勢の方々にご参加いただき、総勢101名でのディナークルーズとなりました。



17時過ぎに横浜港大栈橋を出港し、石田副理事長の開会の挨拶、雪野総務委員の挨拶で乾杯し、楽しい食事が始まりました。



お食事はビュッフェスタイルで、中華料理でした。前菜からデザートまでバラエティーに富んだお料理をいただきました。組合員同士の会話も弾み、席移動をされお話をされる方々もあり、とても楽しく食事をすることができました。



また、エンターテイメントとして行われたものが、バルーンアート・抽選会・生演奏。

バルーンアートは、船内スタッフがテーブルを回り、風船でいろいろな動物を作ってプレゼントしてくれました。ただの細長い風船が、動物になるまでの時間はあっという間。そして小さなお子様たちが、とても嬉しそうな笑顔で、受け取っていたのが印象的でした。



抽選会は、総務委員会が企画したエンターテイメントです。高橋総務副委員長によって、当選番号が発表され記念品の贈呈となりました。記念品は、賛助会員様のご協力もあり、全部で30点。小さなお子様も当選され、みんなで参加できるとても楽しい抽選会となりました。

抽選会終了後、船内スタッフによる生演奏が始まりました。ピアノとサクソフーンでの演奏で、オールディーズ・アメリカンポップスから、アナと雪の女王という最新の曲まで演奏をしていました。

これらのエンターテイメントはすべて大盛況でしたが、もう一つ忘れてはならないのが、夜景です。エンターテイメントが落ち着いた頃、ちょうどみなとみらいを見渡せる場所を通過しており、絵ハガキになるような、とても綺麗な



夜景を見ることができました。デッキでは、記念写真を撮っている方同士で写真の撮りあいをされ、とても和気あいあいとした雰囲気を楽しんでいました。

横浜港に帰港するまでの間歓談を楽しみ、丸山副理事長の閉会の挨拶によって横浜クルージ

ングは閉会しました。参加者みなさまのたくさんのご協力のおかげで、無事に終えることができました。

また、参加したお子様たちへの記念品をプレゼントして下さった佐々木理事長・月山総務委員長にお礼申し上げます。

来年度も、みなさまに楽しんでいただけるイベントを企画してまいりますので、ぜひご参加ください。



第4回船釣り大会

第4回目となりました船釣り大会が、10月4日(土)、金沢漁港「三春丸」において、参加者14名で行われました。

午前7時20分頃、月山務委員長の挨拶の後に、台風18号が非常に強い勢力を保ち大東島地方に接近したとの予報もあり早々と出港した。東京湾の風が強く当たらない場所を選び、午前8時頃から釣りを開始した、潮の流れが悪いのかなかつかれない状況が続いていたが、少し風が治まってきたので場所を変えたところ大アジね

らいでトライした。先程と少し潮の流れが変わったのか、大アジをコンスタントに釣りあげ、外道にイシモチ、サバ、真鯛などが上がり、参加者に笑顔がもどり、正午からアジの大きさが目立釣りになり大物賞がどなたになるか楽しみとなった。その後午後2時30頃船宿に戻り、その場で温かい地魚てんぷらを頂きながら、順位発表をして、和やかに閉幕となりました。最後に金沢漁港「三春丸」から地魚てんぷらのお土産まで頂きました。ありがとうございました。

今回は賛助会員の神奈川管材(株)、渡邊パイプ(株)、(株)シンコー、(株)日邦バルブの各社から、賞品を提供して頂きました。ありがとうございました。



数釣り賞

| 順位 | 名 前 | 釣り数 (アジ) |
|----|---------|----------|
| 1 | 鳥 羽 泰 裕 | 39 |
| 2 | 越 川 常 男 | 35 |
| 3 | 石 田 隆 | 32 |
| 4 | 中 村 正 親 | 31 |
| 5 | 佐 藤 求 | 27 |
| 5 | 河 野 正 敏 | 27 |

大物賞 (アジ)

| 順位 | 名 前 | 釣り数 (アジ・イシモチ) |
|----|---------|---------------|
| 1 | 月 山 勇 | 40.0cm |
| 2 | 鳥 羽 泰 裕 | 39.2cm |

支部対抗ゴルフ大会



支部対抗ゴルフ大会が10月24日(金)「南総カントリークラブ東コース」において、参加者68名で競われました。

月山総務委員長の挨拶後、快晴の秋空、午前7時58分にOUT・IN同時スタートした。各ホールは林や小高い丘でセパレートされ、ベント芝のワングリーンはどれも微妙な起伏が面白さを倍加して、見た目より難しいコースとの声があった。

午後3時45分全員がホールアウト、引き続きパーティ会場で成績発表となり、優勝支部は緑

支部、個人優勝は佐藤信氏〔株日本工業所〕が理事長杯を手にししました。

なお、今回の大会開催にあたり、次の各社よりご協賛いただきました。厚く御礼申し上げます。

(株)日邦バルブ・渡辺パイプ(株)・(株)システム・神奈川管材(株)・前澤給装工業(株)・南総カントリー・(株)タブチ

順位は次のとおり。

| 順位 | 支 部 |
|----|------|
| 1 | 緑 |
| 2 | 戸塚 |
| 3 | 保土ヶ谷 |

ニアピン

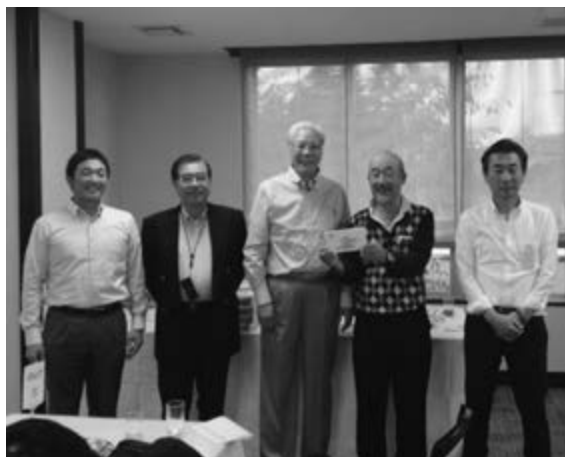
| ホール | 氏 名 | 社 名 | ホール | 氏 名 | 社 名 |
|-----|-------|-----------|-----|-------|------------|
| 4 | 鎌田 伸 | エルゴテック(株) | 13 | 菅谷 賢治 | (株)モリヤ総合設備 |
| 4 | 石田 隆 | 神中工業(株) | 13 | 小堀 創 | 興和工業(株) |
| 8 | 後藤 守利 | カナレイ(株) | 17 | 菅谷 賢治 | (株)モリヤ総合設備 |
| 8 | 小堀 段 | 興和工業(株) | 17 | 幸脇 和彦 | (株)久保田建設 |

ドラゴン

| ホール | 氏 名 | 社 名 | ホール | 氏 名 | 社 名 |
|-----|-------|----------|-----|-------|-----------|
| 7 | 長瀬 優二 | 長瀬管工事(有) | 11 | 長瀬 優二 | 長瀬管工事(有) |
| 7 | 新崎 裕幸 | 新崎住設(株) | 11 | 石橋 一郎 | 東横システム(株) |

個人賞

| 順位 | 氏 名 | 社 名 | OUT | IN | グロス | HDCP | NET |
|----|-------|----------|-----|----|-----|------|------|
| 1 | 佐藤 信 | (株)日本工業所 | 41 | 38 | 79 | 7.2 | 71.8 |
| 2 | 宮本 誠一 | 宮本管機(株) | 42 | 42 | 84 | 12.0 | 72.0 |
| 3 | 田中 國夫 | 東洋水工(株) | 49 | 45 | 94 | 21.6 | 72.4 |



丸山副理事長が第48回横浜市技能功労者表彰

横浜市技能功労者表彰は、永く同一の職業に従事し、功労顕著な技能職の方々を対象に、極めて優れた技能と、他の技能者への模範となり、

指導的な立場にある方を称えるものです。丸山副理事長は、今回、23職種49人の技能功労者の代表として受賞されました。



平成26年度 優良工事施工業者表彰

公益財団法人横浜市建築保全公社による優良工事施工業者表彰式が、11月14日 ロイヤルホールヨコハマにおいて行われました。この表彰は、工事における品質等で他の模範となる工

事を施工した市内 社の方々に対して贈られたものです。

当組合からは、機械設備部門にて次の2社が受賞されました。

(敬称略・名簿順)

| | | |
|-------------|-------|---------|
| 有限会社 正一設備 | 代表取締役 | 難 波 正 一 |
| 有限会社 はま設備工業 | 代表取締役 | 柳 澤 一 海 |

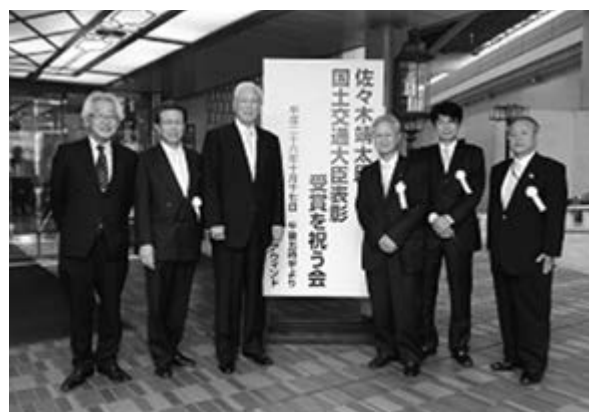
佐々木理事長の国交大臣賞受賞を祝う会

平成26年・国土交通大臣表彰を受賞した当組合理事長・佐々木靖太氏の受賞を祝う会が10月17日、ホテル横浜キャメロットジャパンで開かれ、多方面からの関係者100人が集まり盛大に祝った。

会は、今回の祝う会の発起人で佐々木理事長の地元神奈川支部長辻岡氏による開会の辞に始

まり、小此木八郎衆議院議員をはじめ、横浜市議会議員が祝辞を述べ、その功績をたたえた。また、会場ではお孫さんから花束の贈呈、鏡開きなどが行われ、佐々木理事長のさらなる活躍を願った。

佐々木理事長は「今後も組合と業界の発展に全力で取り組んでいく」と決意を述べた。



「山歩き・花日記」藤代裕三



～沼津アルプスハイキング～



年末も押し迫った12月26日、ハイキング仲間では評判のある沼津アルプスに出かけました。



沼津駅のすぐ南、狩野川の河口付近から駿河湾沿いに南に連なる6 kmほどの山なみで、一番高い鷲頭山で392 mです。

低い標高の割には急な起伏が沢山あり、岩

尾根もあってハイカーには登りでのあるコースとして有名です。25日天城高原の山小屋で過ごし、朝8時に車で修善寺道を通り長岡北ICから国道414号線で狩野川放水路に沿って駿河湾の内浦湾に出て、今回到着点の多比を通り海岸沿いに北上して、志下の街から9時45分に出発しました。

静浦中学校の北に沼津市の駐車場があり車を止めました。民家のはずれに津波対策の標高22 mの標識がありました。標識のある場所で舗装はなくなり2 m幅ほどの登山道になり、すぐに岩がごろごろした急峻な登山道になりました。

やぶ椿、タブの木、小檜、アオキに覆われた道で、登ること約40分で徳倉山、志下山、鷲頭山を結ぶ尾根道、志下峠に着きました。峠には、「ぼたもち岩」と言うでこぼこした岩があり、小休止して水分補給と、行動食を取りました。

山岳ランニングの若者2人が通り過ぎて行きました。小鷲頭に登る尾根道は岩の急坂で、岩が庇状にせり出した奥に中将宮がありました。(平清盛の子、重衡中将を祀った宮で、前庭に大正天皇お手植えの松の跡がありました)



ぼたもち岩



小鷲頭から望む狩野川河口と沼津の街

急坂には登山道わきにロープが張ってあり、掴まれるようになっています。小鷲頭から駿河湾と富士山が望めるそうでしたが、雲で富士は見えませんでした。小鷲頭では多比方面から登ってきた3グループと出会いました。

志下峠から一時間弱で鷲頭山に到着しました。山頂は広く平らで、一角に祠があり、夏ミカンが5～6個供えてありました。見渡すと広場の東の方に夏ミカンの木があり、落果したもの

と思われます。ベンチに座り昼食を取りました。我々が到着した時は先客が1人でしたが、多比から数グループが息を切らして登って来て賑わいました。

多比方面に下ると尾根道は、岩で周囲に土がなくウバメガシが岩に固着するように根を張っていました。(ウバメガシは丸い小さな硬質の葉をつける檜で、木質が堅く、備長炭の原料になっています)



鷲頭山の頂上 奥に祠がありました



岩稜とウバメガシの尾根

岩稜とウバメガシの風景は沼津アルプスのハイライトです。40分ほどで多比峠に着きました。

右に折れると多比、左は大平町です。数分で太平山と多比の分岐点に着きました。15分ほどで大平山へ到着しました。

多比峠を下ると、人家があり、かたわらに水仙が咲いていました。コンクリート舗装になり、急坂のコンクリート舗装は結構、膝の負担にな



にほん水仙

ると感じました。

ミカンとジャムの無人販売の棚があり、ミカンを買いました。町に降りて、国道近くの民家で荷物を車から降ろしている奥さんとあいさつを交わしたところ、「あそこの販売所のみかんは家のもので、小ぶりだが甘くておいしいですよ」と更に手持ちのみかんを戴きました。13時54分のバスに乗り志下に引き返しました。ゆっくり4時間のハイキングでした。

藤代裕三さんのプロフィール



岡山県井原市生まれ。横浜市で水道・下水道局の要職を歴任し、日本下水道事業団を経て国際協力機構（JICA）の専門家としてバングラデシュ・ニカラグア・ペルー・コスタリカなどで6年余、上下水道の技術指導に当たる。技術士（上下水道部門）。声学・登山・マラソンと古希を過ぎても青春まっただ中。

編 集 後 記

新春号をお届けします。

新年に際し、市長・水道局長・建築局長から、心強い挨拶文、また、理事長・各委員会委員長より年頭の抱負が寄せられました。平成29年、組合創立80周年を迎えます。より信頼され頼り

にされる組合作りに、心を新たにしました。

紙面でも紹介しました「路面本復旧の受託事業」が早く定着し、組合事業の柱の一つとなることを願ってやみません。

「浜管たより」は、組合員皆様との「絆」「連帯感」を深めるものです。今年もより良い紙面作りに頑張っまいます。

H・I 生

**賛助会員の新規加入状況
(平成26年9月～)***** 賛助会員**

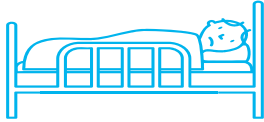
・ 株式会社 辻井商会

東京都大田区矢口3-1-11



会社とあなたをささえる保険のチカラ

- ◇保険を見直したい!
- ◇会社の補償は大丈夫?
- ◇病気のことも心配!



有限会社ビジョン

取扱保険種目

ガン保険・医療保険・事業保険
火災保険・自動車保険 ほか

〒241-0024 横浜市旭区本村町109
TEL 045-390-3315 FAX 045-390-3316
<http://www.vision-com.net>

OSAKI 水道用電動穿孔機 Type A2-R
簡単・安全・確実 ユーザーニーズを追求 高機能へさらに進化

特徴:

- ① 密閉構造 モーターに水が入らない安全設計です。
- ② 左回転 反力によりサドル分水栓とのゆるみが出ません。
- ③ クラッチ機構 むだ送り・むだ反しを解消しました。
- ④ 安全機構 分水栓が閉まった状態では穿孔出来ない機構です。
- ⑤ セットボルト方式だから取付けが簡単です。

(Type A-4 ホーク 25 専用機も用意しております)

大肯精密株式会社 〒146-0081 東京都大田区仲池上 2-19-6
TEL 03-3755-3311 FAX 03-3755-1918

ファルコン PAT



詳しくはホームページで
紹介しています

URL: <http://www.osaki-precision.co.jp>
Mail: eigyou@osaki-precision.co.jp

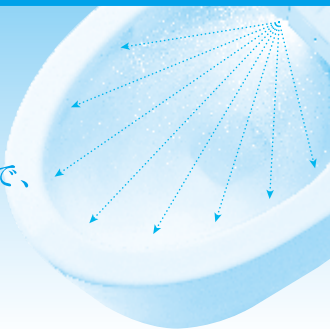
あしたを、ちがう「まいにち」に。

TOTO

業界初*!

きれい除菌水**のチカラで、
毎回手間なし除菌**。

TOTOの清潔機能がさらに進化して、
きれいをバックアップ!
薬品や洗剤を使わずに、見えない汚れや
菌まで分解・除菌します。



「きれい除菌水」で便器を除菌

きれい除菌水とは、水道水**に含まれる塩化物イオンを電気分解して
作られる、除菌成分(次亜塩素酸)を含む水のこと。薬品を使わず、
水道水から作られるので安心・安全です。



*1 家庭用市販の温水洗浄便座において2012年2月1日発売(TOTO調べ)

*2 試験機関:(財)北里環境科学センター・試験方法:電解水の除菌効力試験・除菌方法:電解した水道水と菌液を混合し除菌効果を確認・試験結果:99%以上・効果効能:「きれい除菌水」は汚れを制御するもので、清掃不要になるものではありません。使用・環境条件(水質・便器形状など)によっては、効果が異なります。

*3 試験機関:(財)日本食品分析センター・試験方法:除菌効果試験・除菌方法:電解した水道水により洗浄・対象部分:ソスル表面全体および通水路、便器ボウル面の便器洗浄部・試験結果:99%以上

*4 水道水(水道法で定められた水)です。井戸水の場合、塩化物イオンが少ないため十分な効果が得られないことがあります。

NEOREST

HYBRID SERIES



商品のお問い合わせは TOTOお客様相談室 ☎0120-03-1010 受付時間 9:00~17:00(夏期休暇・年末年始を除く) TOTOホームページ www.toto.co.jp

＝主な事故例＝

★新築マンションの水道
工事中、誤って水漏れを
起こし、第三者に損害を
与えた。

★ビルの水道工事の材質
に欠陥があり引渡後破損
し、水漏れ事故により入
居者に損害を与えた。

など

取扱代理店

株式会社 ワイコム

TEL 045(226)5156
FAX 045(226)5158

日新火災

横浜中央支店

TEL 045(633)5291
FAX 045(633)5292

管工事第三者賠償責任保険で



経営の安定化をバックアップ

INAX
For Precious Life

もちろんエコも大切。オンナゴコロにこたえる 超節水ECO4搭載『きれいトイレ』SATIS

お掃除のしやすさも、エコも、もちろんデザインも。
タンクレスのコンパクトボディにオンナゴコロを満たす
うれしい機能満載のトイレです。

ECO4 **ECO5**
大4L/小3.3L 大5L/小3.8L

トイレは、オンナゴコロ。❤️

SATIS



株式会社 LIXIL 神奈川支社 横浜市都筑区中川中央 2-5-18 〒224-0003 <http://inax.lixil.co.jp/>

トステム・INAX・新日軽・サンウエーブ・TOEXは、株式会社 LIXIL の製品ブランドです。株式会社 LIXIL はお客さまの多様なニーズにお応えした商品とサービスを提供してまいります。